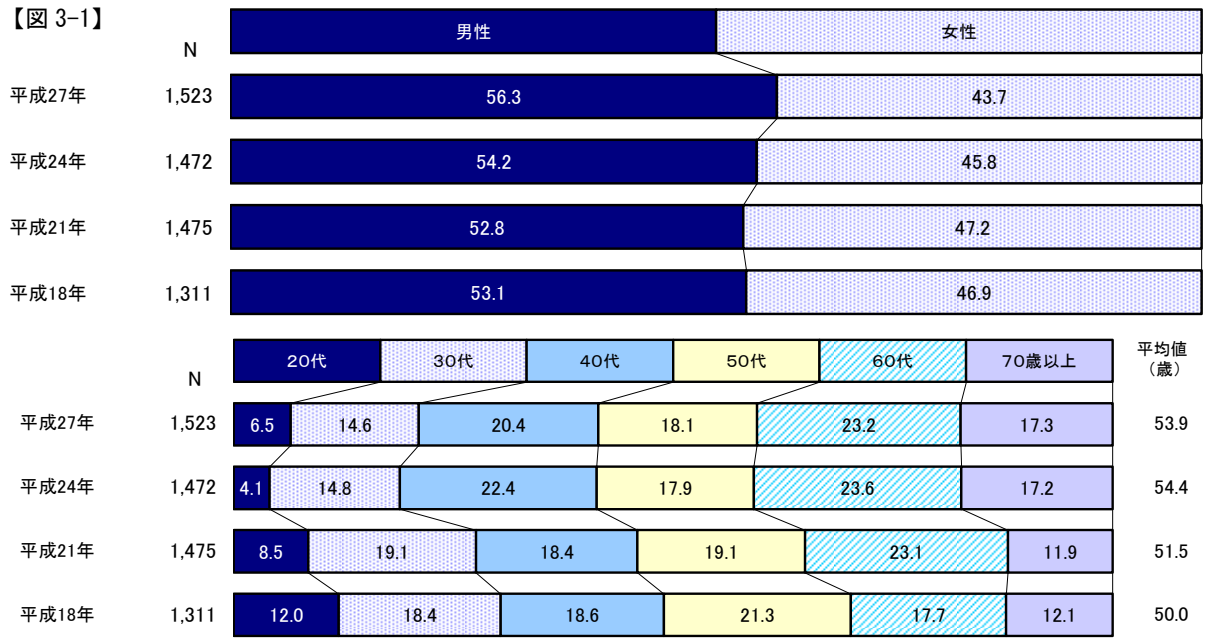
３．回答者のプロフィール

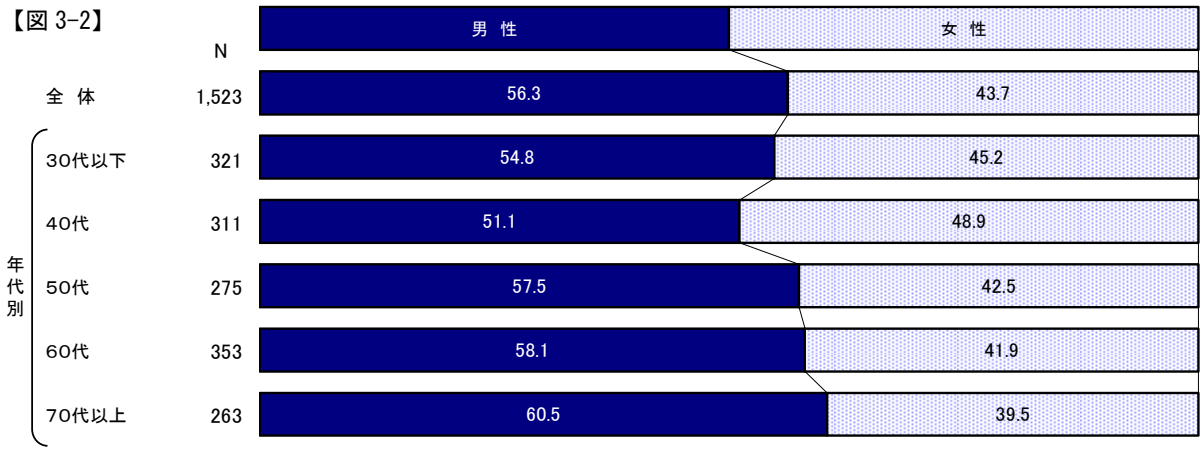
（１）性別・年代〔Ｆ１・Ｆ２：各単数回答〕

- 回答者の性別は「男性」が 56.3%、「女性」が 43.7%で「男性」の方が多い。
  年代は「60 代」が 23.2%で最も多く、“30 代以下”の若年層は約 20%と少ない。
  平均年齢は 53.9 歳で、前回までの“60 代以上”の高年齢層の増加傾向は止まった。
  (図 3-1)
- 男女を年代別でみると、40 代は男女がほぼ半数ずつだが、それ以外の年代では「男性」の方が多い。(図 3-2)
- 投信保有状況別では各層とも「男性」の方が高く、特に保有未経験・購入意向層は 60%以上と多い。
  平均年齢は、現在保有層と保有経験層は 60 歳近くと高い一方、保有未経験・購入意向層と同・非購入意向層は 50 歳未満と若い。
  また、年代が上がるにつれて「現在保有層」「保有経験層」比率が高くなる。(図 3-3)

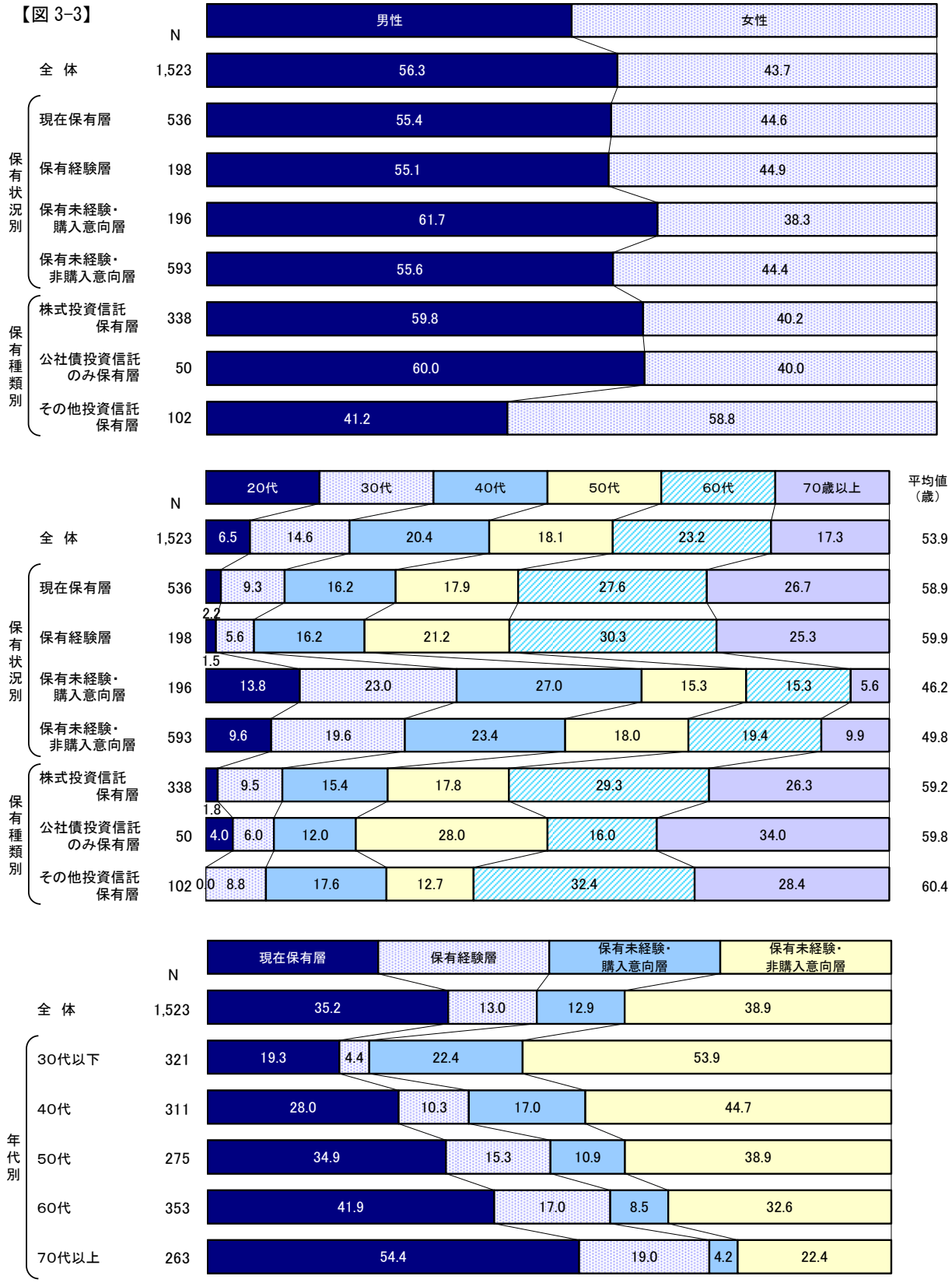
【図 3-1】



【図 3-2】



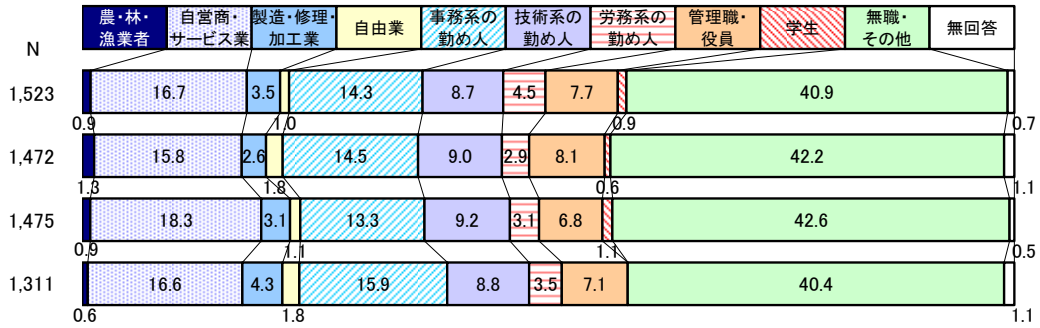
【図 3-3】


N
男性
女性
全 体 1,523 56.3 43.7
保有状況別
現在保有層 536 55.4 44.6
保有経験層 198 55.1 44.9
保有未経験・購入意向層 196 61.7 38.3
保有未経験・非購入意向層 593 55.6 44.4
保有種類別
株式投資信託保有層 338 59.8 40.2
公社債投資信託のみ保有層 50 60.0 40.0
その他投資信託保有層 102 41.2 58.8
20代
30代
40代
50代
60代
70歳以上
平均値（歳）
全 体 1,523 6.5 14.6 20.4 18.1 23.2 17.3 53.9
現在保有層 536 9.3 16.2 17.9 27.6 26.7 58.9
保有経験層 198 2.2 5.6 16.2 21.2 30.3 25.3 59.9
保有未経験・購入意向層 196 1.5 13.8 23.0 27.0 15.3 15.3 5.6 46.2
保有未経験・非購入意向層 593 9.6 19.6 23.4 18.0 19.4 9.9 49.8
株式投資信託保有層 338 9.5 15.4 17.8 29.3 26.3 59.2
公社債投資信託のみ保有層 50 1.8 4.0 6.0 12.0 28.0 16.0 34.0 59.8
その他投資信託保有層 102 0.0 8.8 17.6 12.7 32.4 28.4 60.4
現在保有層
保有経験層
保有未経験・購入意向層
保有未経験・非購入意向層
全 体 1,523 35.2 13.0 12.9 38.9
年代別
30代以下 321 19.3 4.4 22.4 53.9
40代 311 28.0 10.3 17.0 44.7
50代 275 34.9 15.3 10.9 38.9
60代 353 41.9 17.0 8.5 32.6
70代以上 263 54.4 19.0 4.2 22.4

（２）職業〔Ｆ３：単数回答〕

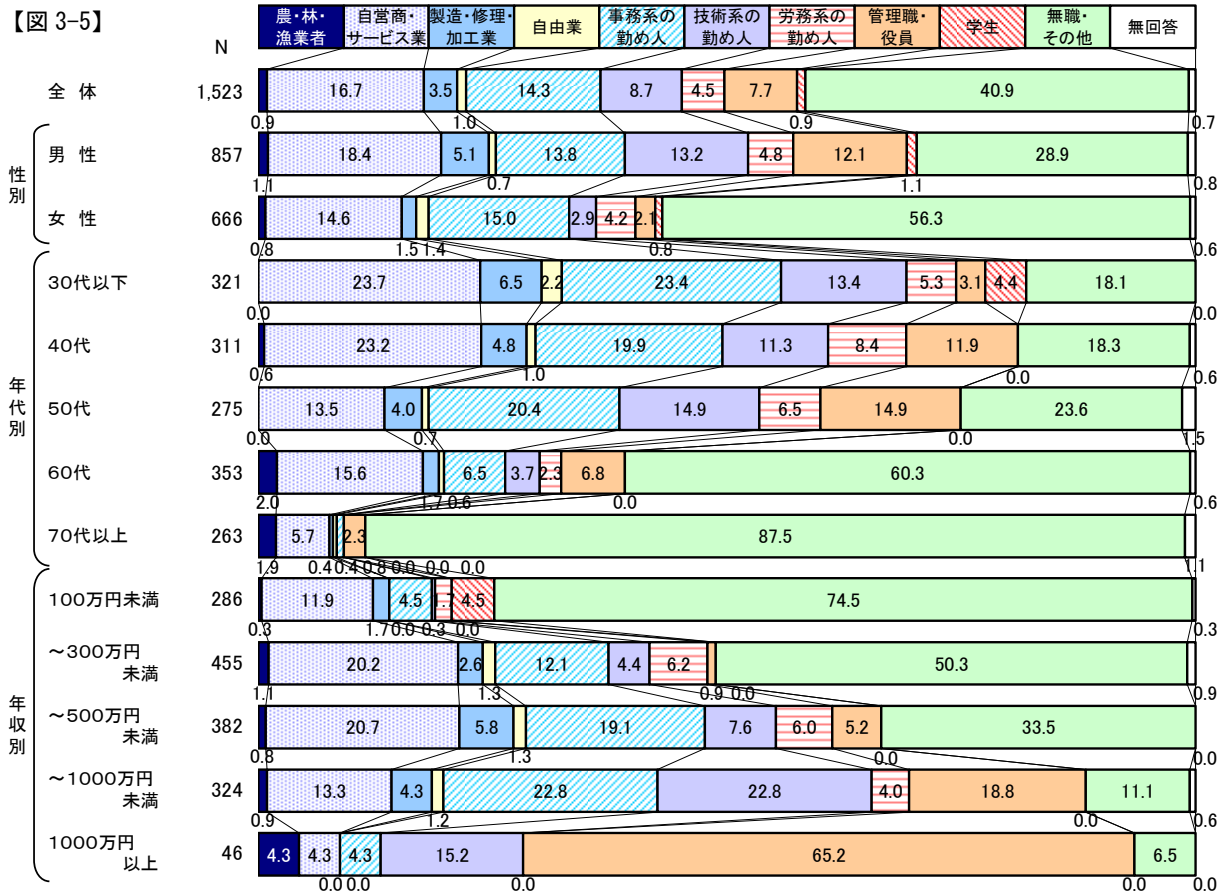
- 回答者の職業は、「無職・その他」（40.9%）が最も多く、次いで「自営商・サービス業」「事務系の勤め人」が約 15%で続く。（図 3-4）
- 男性は約 70%が有職者、女性は「無職・その他」が過半数。50 代以下は有職者が 70～80%台と多いが、60 代以上では「無職・その他」が多い。
  年収が高いほど有職者比率が高く、特に「1000 万円以上」では「管理職・役員」が過半数。（図 3-5）
- 投信現在保有層、保有経験層ともに「無職・その他」がほぼ半数。一方、保有未経験・購入意向層は 75.1%が、同・非購入意向層も過半数が有職者。（図 3-6）

【図 3-4】

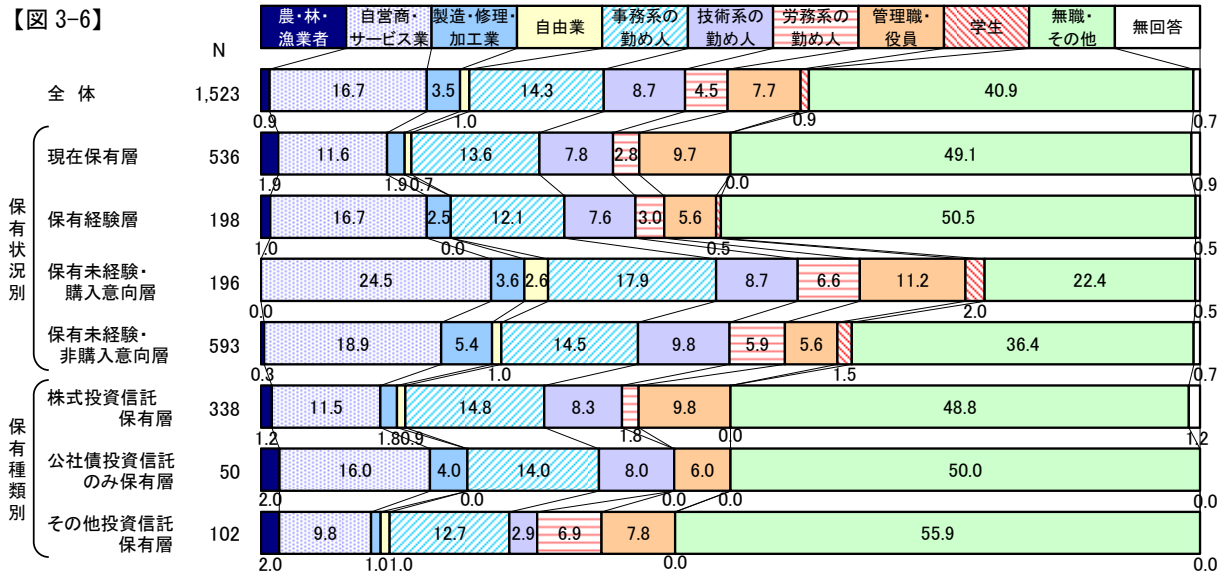


※　平成 21 年調査より「学生」を追加

【図 3-5】



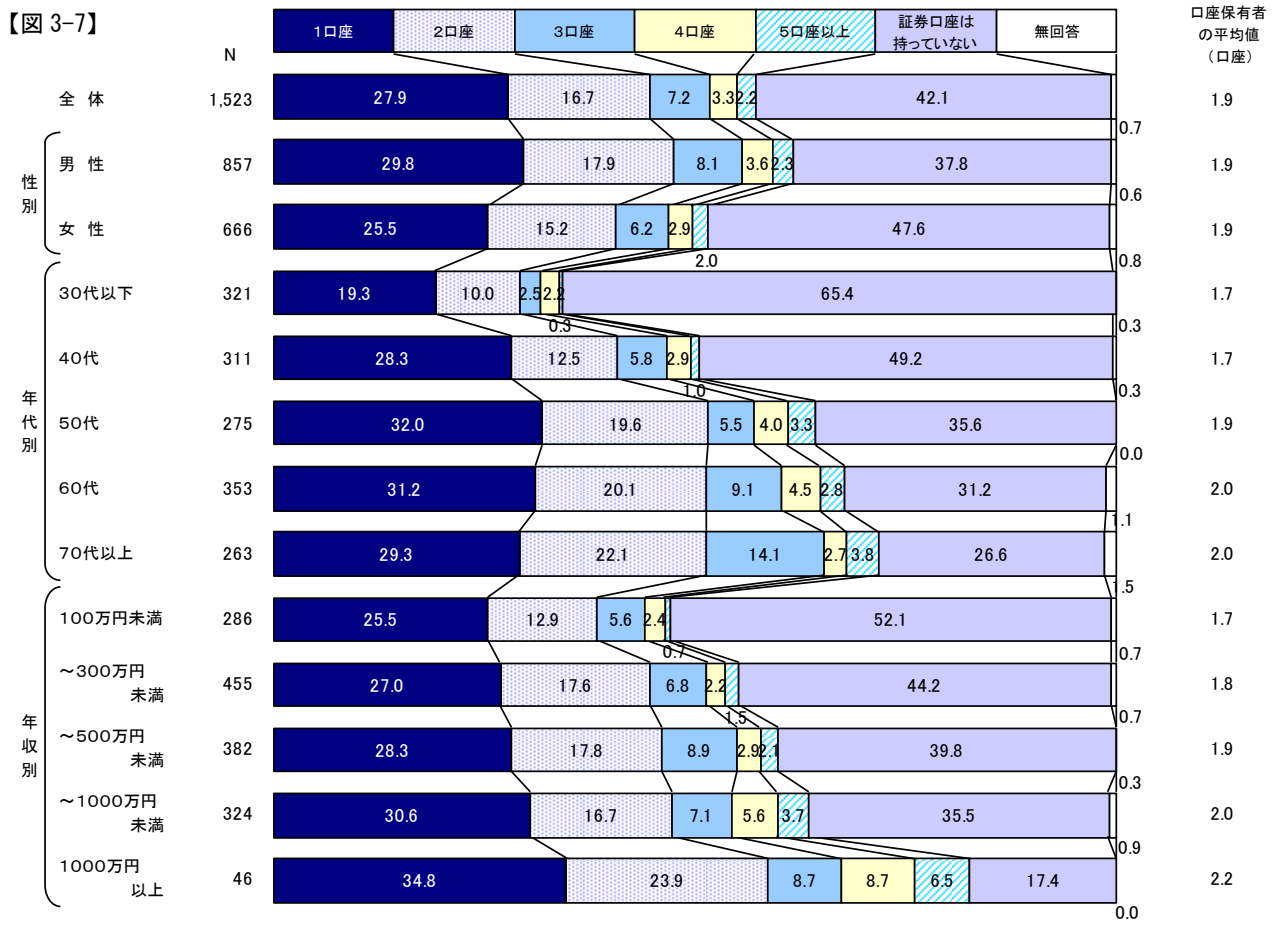
【図 3-6】



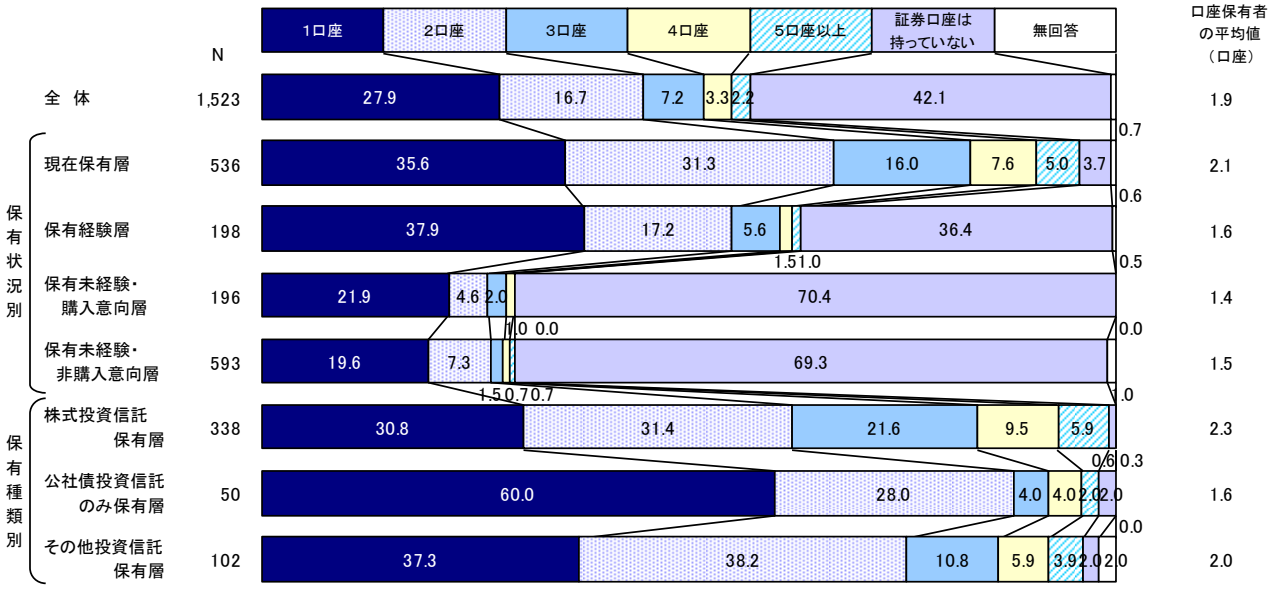
（３）投資口座の保有状況〔問１：単数回答〕

- 現在、投資（株式・債券・投信取引など）のために保有している口座数は「１口座」（27.9%）が最多。口座保有率は 57.3%で、過半数が投資口座を保有している。口座保有者の平均口座数は 1.9 口座である。
  男性の口座保有率（61.7%）が女性（51.8%）より高い。
  30 代以下の口座保有率は 34.3%と低いが、年代が上がるにつれ高くなる。平均口座数も高年齢層ほど多く、40 代以下が 1.7 口座に対し、60 代以上では 2.0 口座。
  年収別でも、年収が高くなるほど口座保有率が高くなり、「1000 万円以上」では保有率が 80%を超え、平均口座数も 2.2 と特に多い。（図 3-7）
- 投信現在保有層は「２口座」以上の複数口座を保有している率が高く、平均口座数も 2.1 と特に多い。一方、保有未経験・購入意向層と同・非購入意向層は「証券口座は持っていない」が約 70%を占め、投資口座保有率は低い。
  株式投信保有層では平均口座数が 2.3 と特に多い。これに対し、公社債投信のみ保有層は「１口座」のみの保有率が他の２層より高く、平均口座数も 1.6 と比較的少ない。（図 3-8）

【図 3-7】


1口座
2口座
3口座
4口座
5口座以上
証券口座は持っていない
無回答
口座保有者の平均値（口座）
N
全 体 1,523 27.9 16.7 7.2 3.3 2.2 42.1 0.7 1.9
性別
男 性 857 29.8 17.9 8.1 3.6 2.3 37.8 0.6 1.9
女 性 666 25.5 15.2 6.2 2.9 2.0 47.6 0.8 1.9
年代別
30代以下 321 19.3 10.0 2.5 2.2 0.3 65.4 0.3 1.7
40代 311 28.3 12.5 5.8 2.9 1.0 49.2 0.3 1.7
50代 275 32.0 19.6 5.5 4.0 3.3 35.6 0.0 1.9
60代 353 31.2 20.1 9.1 4.5 2.8 31.2 1.1 2.0
70代以上 263 29.3 22.1 14.1 2.7 3.8 26.6 1.5 2.0
年収別
100万円未満 286 25.5 12.9 5.6 2.4 0.7 52.1 0.7 1.7
～300万円未満 455 27.0 17.6 6.8 2.2 1.5 44.2 0.7 1.8
～500万円未満 382 28.3 17.8 8.9 2.9 2.1 39.8 0.3 1.9
～1000万円未満 324 30.6 16.7 7.1 5.6 3.7 35.5 0.9 2.0
1000万円以上 46 34.8 23.9 8.7 8.7 6.5 17.4 0.0 2.2

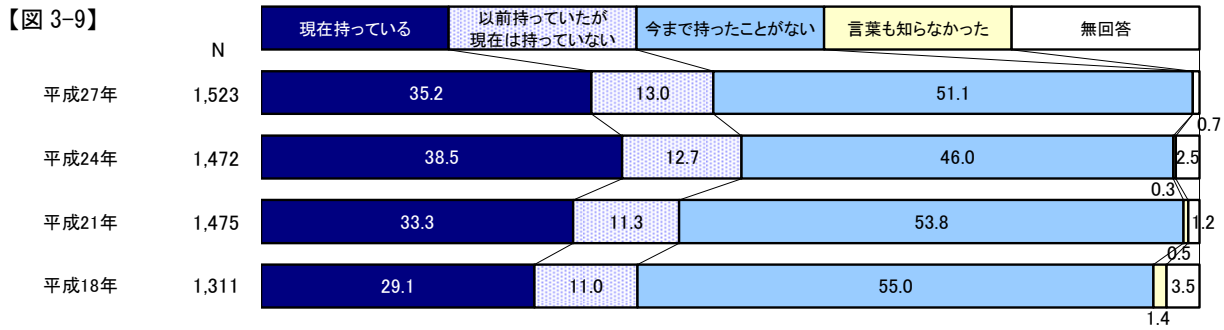
【図 3-8】


1口座
2口座
3口座
4口座
5口座以上
証券口座は持っていない
無回答
口座保有者の平均値（口座）
N
全 体 1,523 27.9 16.7 7.2 3.3 2.2 42.1 0.7 1.9
保有状況別
現在保有層 536 35.6 31.3 16.0 7.6 5.0 3.7 0.6 2.1
保有経験層 198 37.9 17.2 5.6 1.5 1.0 36.4 0.5 1.6
保有未経験・購入意向層 196 21.9 4.6 2.0 1.0 0.0 70.4 0.0 1.4
保有未経験・非購入意向層 593 19.6 7.3 1.5 0.7 0.7 69.3 1.0 1.5
保有種類別
株式投資信託保有層 338 30.8 31.4 21.6 9.5 5.9 0.6 0.3 2.3
公社債投資信託のみ保有層 50 60.0 28.0 4.0 4.0 2.0 2.0 0.0 1.6
その他投資信託保有層 102 37.3 38.2 10.8 5.9 3.9 2.0 2.0 2.0

（4）投資信託の保有状況〔問２：単数回答〕

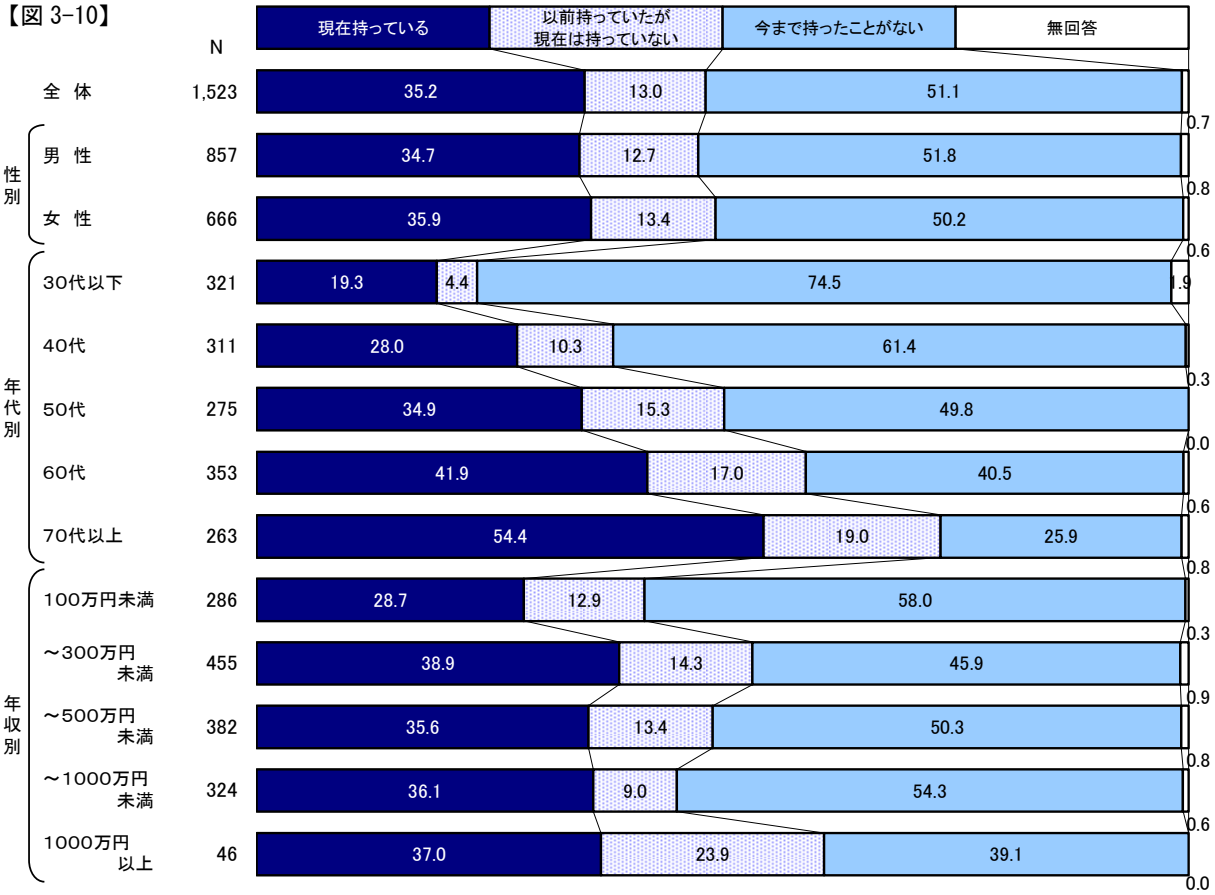
- 投信保有状況は、「現在持っている」という“現在保有層”が 35.2%、「以前持っていたが現在は持っていない」という“保有経験層”が 13.0%、「今まで持ったことがない」という“保有未経験層”がほぼ半数(51.1%)を占めている。
  前回まで見られた“現在保有層”の増加傾向が、今回は止まった。(図 3-9)
- “現在保有層”は年代が上がるにつれ多くなり、“保有経験層”も同様の傾向となっている。
  年収別では、「100 万円未満」は他の層に比べ、“現在保有層”が少ない。(図 3-10)

【図 3-9】



※　平成 27 年調査では「言葉も知らなかった」を削除

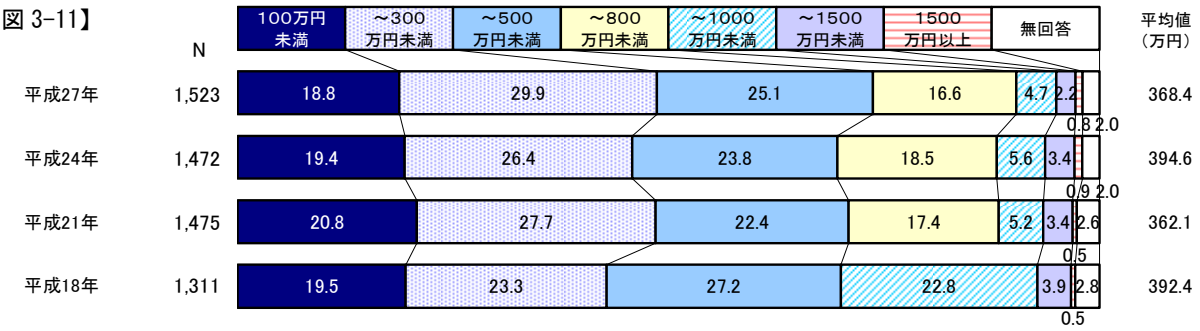
【図 3-10】



（５）年収〔Ｆ５：単数回答〕

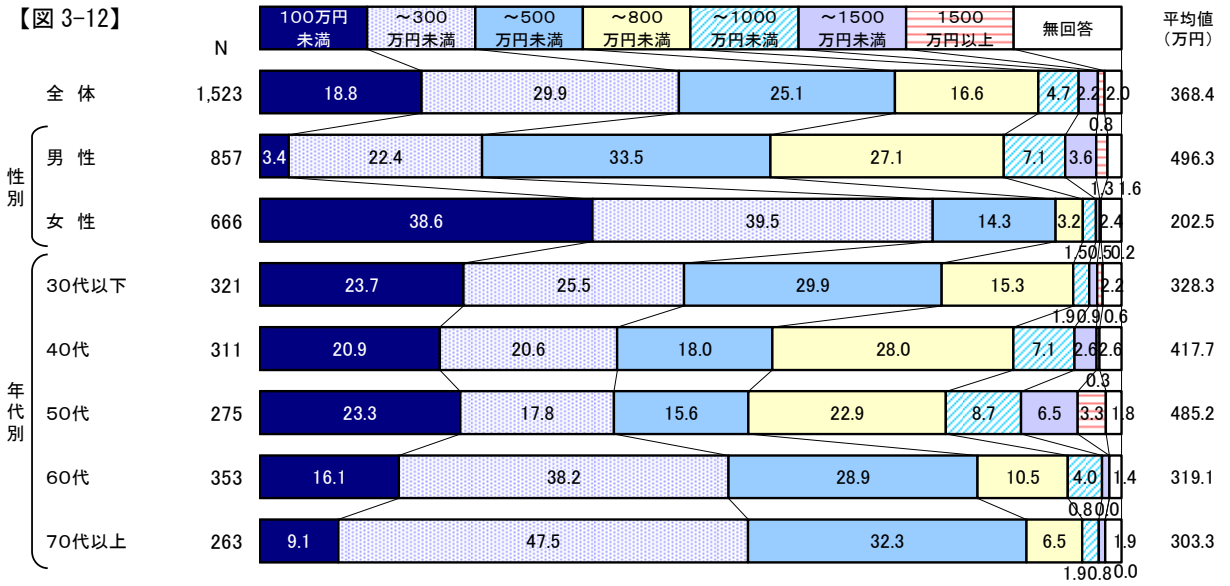
- 回答者の年収は、「～300 万円未満」(29.9%)、「～500 万円未満」(25.1%)が比較的多く、これに「100 万円未満」(18.8%)を合わせた“500 万円未満”は 73.8%を占める。平均値は 368.4 万円である。(図 3-11)
- 男性の“300 万円未満”の比率は 25.8%だが、これに対して女性は 78.1%と高い。平均値も男性は 496.3 万円で、女性(202.5 万円)の２倍以上高い。
  年代別では、50 代までは年代が上がるにつれて平均値も高くなり、最も高い 50 代で 485.2 万円。60 代以上の平均値は 300 万円台前半。 (図 3-12)
- 保有種類別では、平均値は株式投信保有層が最も高く(401.5 万円)、公社債投信のみ保有層が最も低い(307.1 万円)。(図 3-13)

【図 3-11】

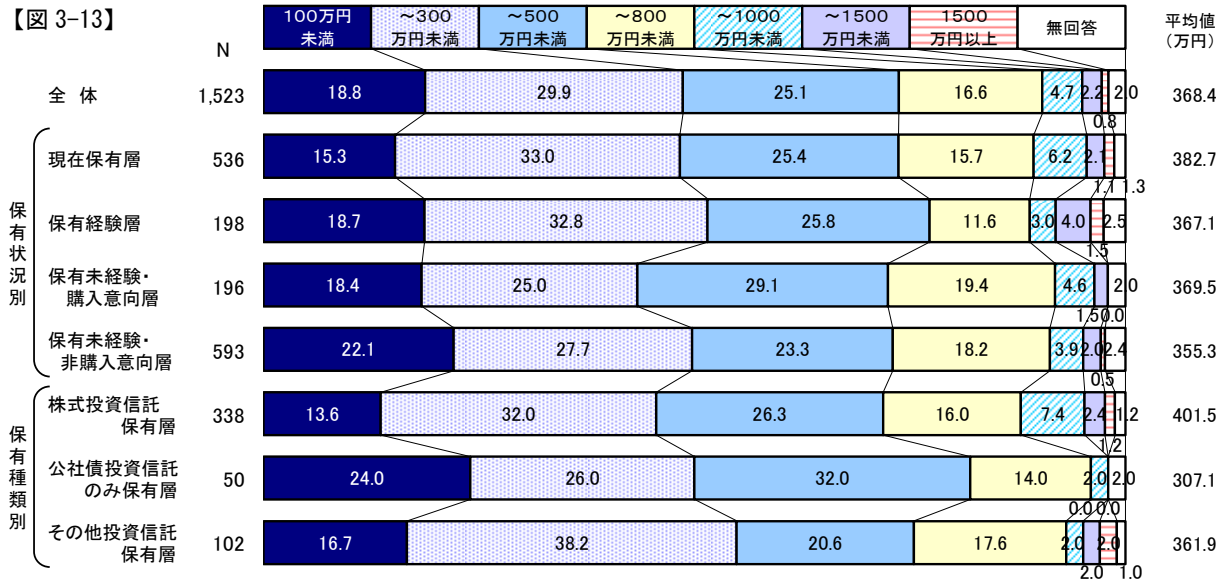


※　平成 21 年より「～1000 万円未満」→「～800 万円未満」、「～1000 万円未満」に細分化

【図 3-12】



【図 3-13】



（６）収入源〔Ｆ４①②〕

① 収入源〔Ｆ４①：重複回答〕

- 回答者の収入源（重複回答）は、「給与所得」が 60.3％で最も多く、次いで「恩給・年金」が 34.9％、「利子・配当」が 19.8％の順。
  平成 24 年に比べて「利子・配当」が 5.1ｐ減少した。（図 3-14）
- 男性では「給与所得」が女性より多い。
  20～50 代はいずれも「給与所得」が 80％台、60 代以上では「恩給・年金」が約 80～90％で多い。「利子・配当」「家賃・地代」は 50 代以上、「貯蓄の取り崩し」は 60 代以上でやや多く、年代が高いほど多様な収入源を持っている。（図 3-15）
- 投信現在保有層は「利子・配当」「恩給・年金」、保有経験層は「恩給・年金」、保有未経験の２層は「給与所得」が他層に比べて多い。（現在保有層と保有経験層は高年齢層、保有未経験層は若年層が多いためとみられる。図 3-3 最下段のグラフ参照。）
  株式投信保有層は他の２層に比べ「利子・配当」が 40.8％と多い。（図 3-16）

② 主な収入源〔Ｆ４②：単数回答〕

- 主な収入源（単数回答）は、「給与所得」が 52.9％、「恩給・年金」が 26.3％で、この２つで約 80％を占める。今回、「給与所得」の減少傾向が止まった。（図 3-17）
- 「給与所得」は男性の方が多く、年代では 50 代以下では 70～80％台と大半を占める。60 代以上では「恩給・年金」が多数派となる。（図 3-18）
- 主な収入源別に年収をみると、「給与所得」は「～300 万円未満」から「～800 万円未満」が多いが、「恩給・年金」は「～300 万円未満」が中心。（図 3-19）
- 投信現在保有層と保有経験層は「給与所得」と「恩給・年金」が同程度で並ぶが、保有未経験の２層では「給与所得」が中心。（図 3-20）

【収入源（重複回答）】

【図 3-14】

	N	給与所得	事業所得	利子・配当	貯蓄の取り崩し	家賃・地代	恩給・年金	その他	無回答
平成27年	1,523	60.3	7.7	19.8	13.9	6.5	34.9	9.5	1.6
平成24年	1,472	57.7	8.6	24.9	13.6	7.5	35.5	10.7	2.5
平成21年	1,475	57.3	8.4	21.8	13.8	8.5	31.9	12.5	1.8
平成18年	1,311	61.3	9.6	22.7	10.8	8.0	27.3	10.7	3.0

【図 3-15】

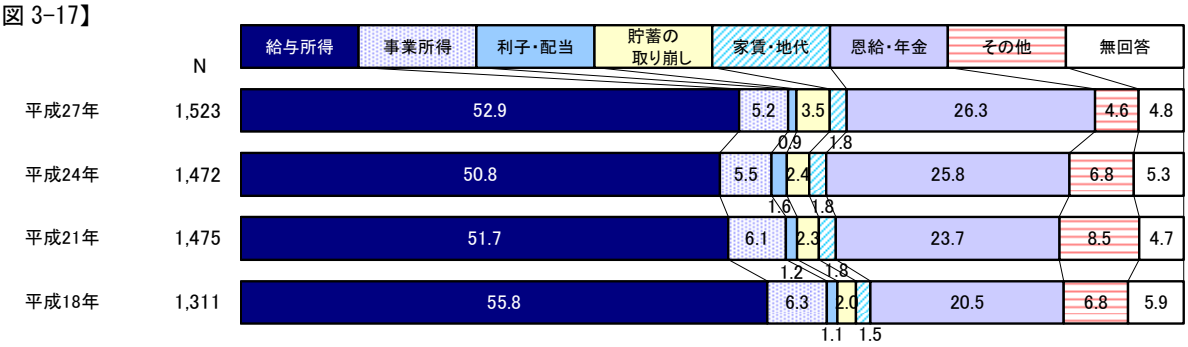
		N	給与所得	事業所得	利子・配当	貯蓄の取り崩し	家賃・地代	恩給・年金	その他	無回答
	全 体	1,523	60.3	7.7	19.8	13.9	6.5	34.9	9.5	1.6
性別	男 性	857	65.1	9.9	19.8	11.9	7.7	34.7	5.6	1.9
性別	女 性	666	54.2	5.0	19.8	16.5	5.0	35.1	14.6	1.2
年代別	30代以下	321	84.1	7.8	11.5	9.3	1.6	1.6	10.9	0.3
年代別	40代	311	84.6	6.8	13.8	7.1	2.3	0.3	8.7	1.6
年代別	50代	275	80.4	9.1	21.8	12.7	8.4	3.3	10.2	0.4
年代別	60代	353	40.5	8.8	26.6	21.2	9.6	77.9	9.9	1.7
年代別	70代以上	263	8.4	6.1	25.9	19.0	11.4	91.6	7.6	4.2

【図 3-16】

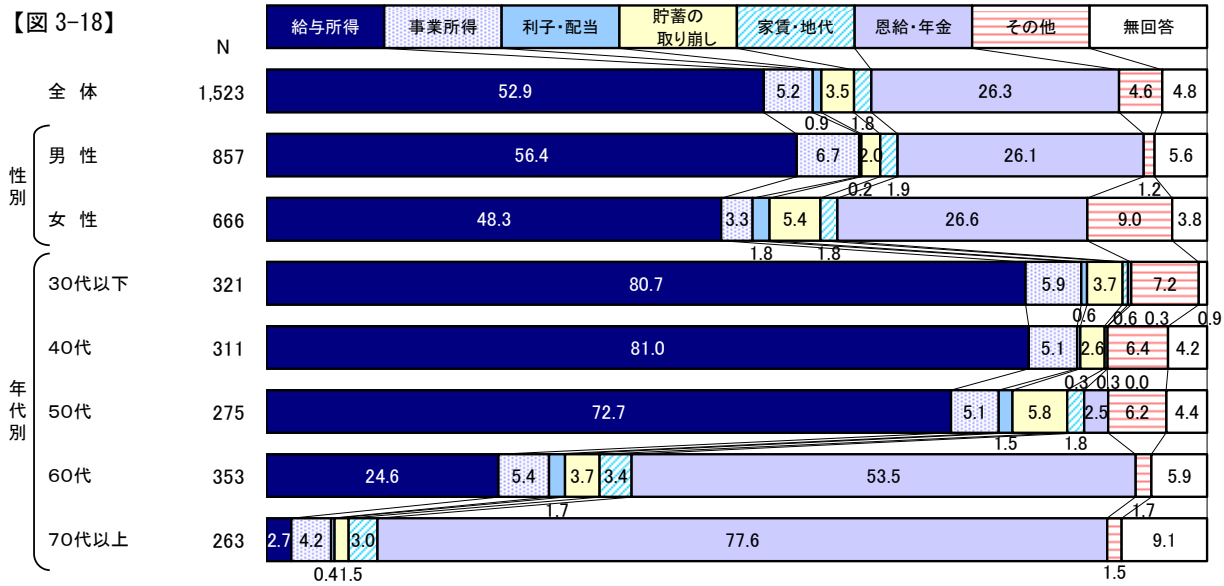
		N	給与所得	事業所得	利子・配当	貯蓄の取り崩し	家賃・地代	恩給・年金	その他	無回答
	全 体	1,523	60.3	7.7	19.8	13.9	6.5	34.9	9.5	1.6
保有状況別	現在保有層	536	51.3	6.9	34.9	16.2	9.3	48.1	9.9	1.7
保有状況別	保有経験層	198	47.5	7.6	17.2	16.2	11.1	49.5	9.1	2.0
保有状況別	保有未経験・購入意向層	196	79.6	10.7	12.2	12.8	4.6	18.9	10.2	0.5
保有状況別	保有未経験・非購入意向層	593	66.4	7.6	9.6	11.5	3.0	23.3	9.1	1.7
保有種類別	株式投資信託保有層	338	50.9	5.6	40.8	15.4	9.8	49.1	10.4	1.5
保有種類別	公社債投資信託のみ保有層	50	50.0	6.0	24.0	22.0	2.0	46.0	8.0	0.0
保有種類別	その他投資信託保有層	102	48.0	6.9	27.5	18.6	14.7	53.9	9.8	2.9

【主な収入源（単数回答）】

【図 3-17】

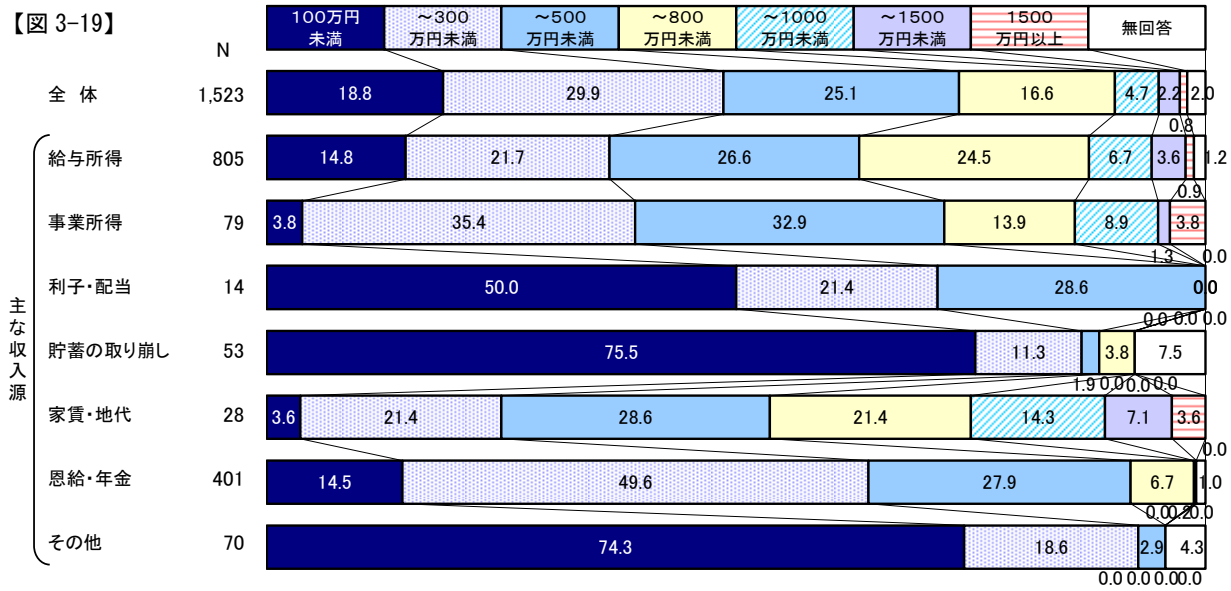


【図 3-18】

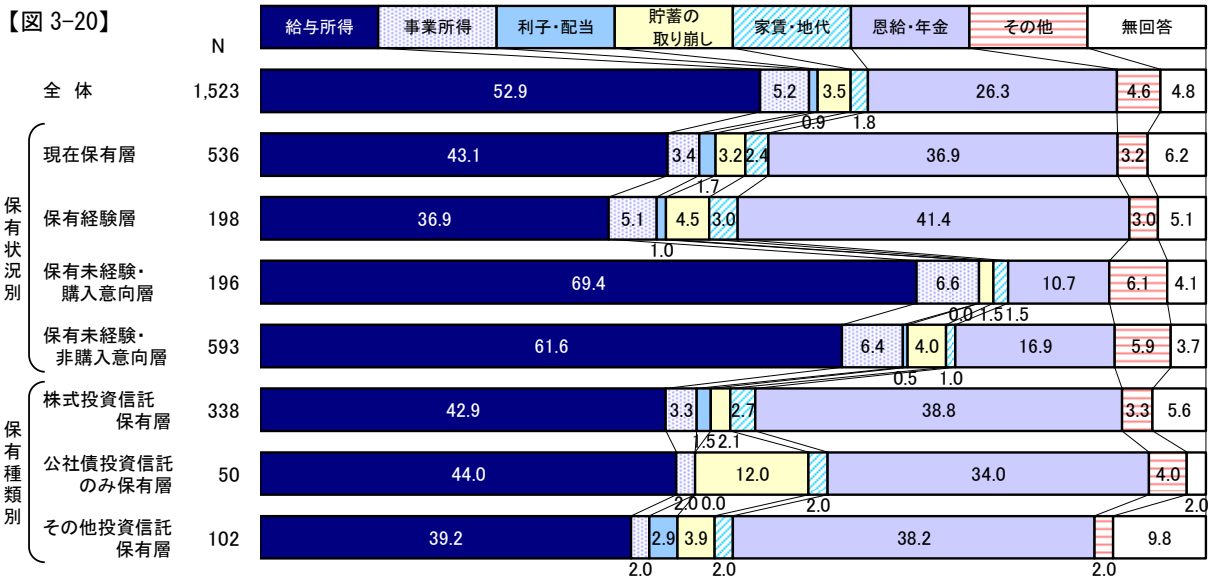


※Ｎ数（サンプル数）が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

【図 3-19】



【図 3-20】



（7）利用するインターネットデバイス〔Ｆ６：重複回答〕

- 普段の情報収集に利用しているインターネットデバイスは「パソコン」(63.8%)が多く、次いで「スマートフォン」(43.9%)、「タブレット」(15.8%)となっている。「インターネットは利用しない」は 15.3%。
  男性では「パソコン」が多く、「スマートフォン」を大きく上回るが、女性は「パソコン」と「スマートフォン」が同程度。
  年代別では若年層ほど「スマートフォン」が多く、30 代以下では「パソコン」を上回る。一方、「インターネットは利用しない」は高年齢層で多く、70 代以上では 40%を超える。
  また、年収が高くなるほど「パソコン」や「タブレット」が多い。(図 3-21)
- 投信保有未経験の２層は他層に比べて「スマートフォン」が多い。保有未経験・購入意向層は「パソコン」も多い。
  株式投信保有層は他の２層より「パソコン」が多く、「インターネットは利用しない」が少ない。(図 3-22)

【図 3-21】

		N	パソコン	スマートフォン	タブレット	携帯電話（フィーチャーフォン・ガラケー）	その他	インターネットは利用しない	無回答
	全 体	1,523	63.8	43.9	15.8	7.9	0.8	15.3	1.4
性別	男 性	857	73.9	40.7	16.5	7.1	0.8	12.4	1.1
	女 性	666	50.8	48.0	15.0	9.0	0.8	19.1	1.8
年代別	30代以下	321	66.4	83.2	20.2	5.3	0.6	0.6	0.0
	40代	311	75.2	65.3	22.5	7.4	0.0	2.9	0.6
	50代	275	74.9	46.2	20.0	6.5	0.0	8.0	0.7
	60代	353	57.5	17.0	11.0	9.9	1.1	25.5	0.8
	70代以上	263	43.7	4.6	4.6	10.6	2.3	41.8	5.3
年収別	100万円未満	286	53.1	52.4	14.7	8.4	0.7	15.0	1.0
	～300万円未満	455	53.8	33.8	12.3	10.1	1.5	22.4	1.8
	～500万円未満	382	64.1	40.3	13.9	7.6	0.5	16.8	0.8
	～1000万円未満	324	85.5	52.2	21.6	6.2	0.3	4.6	0.0
	1000万円以上	46	91.3	65.2	34.8	0.0	0.0	4.3	2.2

【図 3-22】

		N	パソコン	スマートフォン	タブレット	携帯電話（フィーチャーフォン・ガラケー）	その他	インターネットは利用しない	無回答
	全 体	1,523	63.8	43.9	15.8	7.9	0.8	15.3	1.4
保有状況別	現在保有層	536	62.5	32.8	15.1	8.6	1.1	19.6	2.2
	保有経験層	198	58.6	29.8	11.6	7.6	0.5	24.7	1.5
	保有未経験・購入意向層	196	74.0	61.7	17.3	10.2	0.0	3.6	1.0
	保有未経験・非購入意向層	593	63.2	52.8	17.4	6.7	0.8	12.1	0.7
保有種類別	株式投資信託保有層	338	68.0	32.0	16.3	8.3	1.5	16.9	1.5
	公社債投資信託のみ保有層	50	48.0	34.0	12.0	8.0	0.0	28.0	4.0
	その他投資信託保有層	102	52.0	29.4	8.8	8.8	0.0	29.4	2.9